

医学英語Ⅳ

科目責任者 山口重樹
学年・学期 4学年・前期

I. 前 文

医師には英文医学論文の読解力のみならず、英語での研究発表能力や学会での自由な討論能力までが求められるようになってきています。医学英語Ⅲで身につけた能力がさらに向上するよう努力してください。

なお、本学大学院における学位申請に係る外国語試験（毎年6月と12月に実施）は第4学年以上の医学部学生にも受験資格が与えられています。この大学院外国語試験の受験も視野に入れて学習していただきたいと思います。

II. 担当教員

林 周次郎（皮膚科学）
古 郡 規 雄（精神神経医学）
佐 藤 雄 也（小児科学）
國 分 伸 一（麻酔科学）

III. 一般学習目標

英文教科書や臨床系の英語論文（症例報告や臨床研究など）を読解できる能力を身につける。

IV. 学修の到達目標

- 1) 英文教科書あるいは国際誌の臨床英語論文の内容を理解できる。
- 2) 第5学年でのBSLで臨床実習する際に必要とされる専門用語を理解できる。
- 3) 病歴やレポートの専門用語を英語で記載できる。
- 4) 本学大学院で学位申請をする際に必要とされる医学英語を理解できる。

V. 授業計画及び方法

回数	月	日	曜日	時限	講 義 テ ー マ	担 当 者
1	4	6	月	4	ガイダンス	山口重樹 担当教員
2		13	月	4	演習教材（医学英語Ⅳ01）	各担当教員
3	5	11	月	4	演習教材（医学英語Ⅳ02）	
4		18	月	4	演習教材（医学英語Ⅳ03）	
5		21	木	4	演習教材（医学英語Ⅳ04）	
6		21	木	5	演習教材（医学英語Ⅳ05）	

VI. 評価基準（成績評価の方法・基準）

定期試験で評価する。なお、出席状況や授業態度も加味します。

Ⅶ. 教材・参考図書

教材

毎時間必要な教材を配付します。

辞書

『ステッドマン医学大辞典 改訂第6版』メジカルビュー社 2008年

Ⅷ. 質問への対応方法

講義時間中に受け付けます。

IX. 卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目の関連

*◎：最も重点を置くDP ○：重点を置くDP

ディプロマ・ポリシー（卒業認定・学位授与の方針）		
医学知識	人体の構造と機能，種々の疾患の原因や病態などに関する正しい知識に基づいて臨床推論を行い，他者に説明することができる。	
	種々の疾患の診断や治療，予防について原理や特徴を含めて理解し，他者に説明することができる。	
臨床能力	卒後臨床研修において求められる診療技能を身に付け，正しく実践することができる。	
	医療安全や感染防止に配慮した診療を実践することができる。	
プロフェッショナリズム	医師としての良識と倫理観を身に付け，患者やその家族に対して誠意と思いやりのある医療を実践することができる。	
	医師としてのコミュニケーション能力と協調性を身に付け，患者やその家族，あるいは他の医療従事者と適切な人間関係を構築することができる。	
能動的学修能力	医師としての内発的モチベーションに基づいて自己研鑽や生涯学修に努めることができる。	○
	書籍や種々の資料，情報通信技術（ICT）などの利用法を理解し，自らの学修に活用することができる。	○
リサーチ・マインド	最新の医学情報や医療技術に関心を持ち，専門的議論に参加することができる。	○
	自らも医学や医療の進歩に寄与しようとする意欲を持ち，実践することができる。	○
社会的視野	保健医療行政の動向や医師に対する社会ニーズを理解し，自らの行動に反映させることができる。	
	医学や医療をグローバルな視点で捉える国際性を身に付け，自らの行動に反映させることができる。	◎
人間性	医師に求められる幅広い教養を身に付け，他者との関係においてそれを活かすことができる。	
	多様な価値観に対応できる豊かな人間性を身に付け，他者との関係においてそれを活かすことができる。	

X. 課題（試験やレポート等）に対するフィードバックの方法

筆記試験にて英語論文読解能力を評価し，フィードバックする。

XI. 求められる事前学習，事後学習（カッコ内は所要時間の目安）

常に英文論文を読むことを心掛ける。講義で配布された資料の穴うめを完成させること。（2時間）

XII. コアカリ記号・番号

A-2-1, A-7-2